

おめでとう サッカー部 全国選手権大会 石川県代表星稜高校に勝利！ 感動をありがとう！



平成二十四年 一月十日(木)
米子北高新聞 第44号
サッカー全国選手権特集

全国大会二年連続となる米子北高校サッカー部は12月31日(土)神奈川県二ツパツ三ツ沢球技場のピッチに立ち、選手権で初めての勝利を勝ち取った。戦いの後の花本君の涙を見て、胸が締め付けられる思いになった。
この日のために流した汗と涙。血のにじむような努力。

試合を応援するために、地元関東支部からも駆けつけてくださった方の姿もあった。(写真下)

新聞部も応援に向かったが、周辺の駐車場はどこも満員御礼。会場から漏れ聞こえる「おおー」という歓声。会場内に到着すると、すでに真木君が先制点を決めてくれていた。

その後小笹君もシュートを決め(写真左)、3・1で勝利！2回戦に駒を進めた。2回戦の相手は地元神奈川県代表桐光学園となった。



小笹君がヘディングで押し込んだ場面(写真上)
試合終了後スタンドに勝利の挨拶に向かうメンバー(写真下)



第九十回全国高等学校サッカー選手権鳥取県大会で決勝点となる加藤君のシュート(写真上)とその大会を応援に来てくれた卒業生で鹿島アントラーズの昌子君(写真左)

とりぎんパードスタジアムに於いて

編集後記

「なぜ!?!」と思った人も多かったろう。

米子北の勝利を受け、2回戦、神奈川県代表桐光学園との試合。日本海テレビは箱根駅伝を放送中。どこかで放映していないかな?と思いつつ、中海放送のチャンネル「な、ないっ!」がっかりしてパソコンでツイッターを検索。60秒ごとの自動更新が待たれる。

こんなことなら、あと一泊して応援していれば良かったとがっかり。だって1月2日、テレビ東京では放映されるのを知っていたから……

入ってくる情報に一喜一憂。夜中の録画放送で見た竹内君、青木君、竹内君、真木君。ゴールは感動的だった。後半の試合は見たくない気もしたが、部員のがんばりをやはりこの目で見たくなった。

そして今大会は市立船橋の優勝で幕を閉じた。

さあ、平成二十四年も始まった。県新人戦で境高に圧勝した米子北高の力を信じている。共に笑い、共に泣こう。がんばらいて北高。